

2016年5月9日

公益財団法人神奈川県スキー連盟  
加盟団体長（協会長）殿  
理事長 殿

公益財団法人神奈川県スキー連盟  
会 長 片 忠 夫  
専務理事 上 田 英 之  
(公印省略)

公益財団法人全日本スキー連盟及び公益財団法人神奈川県スキー連盟  
専門委員候補者の推薦のお願いと要領・期日等について

平素より本連盟の運営にあたり、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

新年度に向け、当連盟の新年度各種専門委員の推薦をお願いしたく案内申し上げます。推薦方法は、下記要領に基づき実施下さるようお願い申し上げます。

理事会を経ての決定となりますので、推薦された方々が自動的に専門委員になるものではありません。この点をご理解頂きたく願います。結果は各加盟団体へ個別にご通知申し上げます。

記

**〔公財〕神奈川県スキー連盟関係**

**1. 総務本部専門委員候補者**

**1.1 総務委員会、普及振興委員会専門委員候補者（様式：SAK用-1）**

推薦を受け、総務本部長が調整し総務委員会、普及振興委員会に振り分ける。

- (1) 総務委員会：SAJ、SAK 会員増加対策の企画、登録、その他総務業務の援助など。
- (2) 財務委員会：SAK 財務全般（予算編成、決算、資金運用等）の審議及び理事会への意見の具申、諮問対応。
- (3) 普及振興委員会：「普及振興事業の企画運営」。

推薦人数：各委員会とも加盟団体より複数推薦可

**1.2 規約等審議委員会、広報委員会、ハンディキャップ委員会専門委員候補者**

(様式：SAK用-2)

推薦を受け、総務本部長が調整する。

- (1) 規約等審議委員会：公益法人としての各種規約規定の整備にあたって、理事会からの諮問事項の審議、答申を主とした活動。

推薦人数：ブロック 各3名以内。県央、湘南、県西ブロックは、同一加盟団体から2名以上の委員推薦は出来ない。

- (2) 広報委員会：会員へのSAK情報の提供と広報誌の編集、発行やホームページの編集、マスコミ対応などを主とした活動。

推薦人数：各委員会加盟団体より複数推薦可

- (3) ハンディキャップ委員会：身体に障害を持つ方を県連行事（スキー教室、セミナー各種大会）に参加出来るよう検討、立案、実施することを主とした活動。

推薦人数：加盟団体より複数推薦可

## 2. 競技本部専門委員候補者（様式：SAK用-3）

それぞれの行事運営並びに選手強化の支援を主とする活動。推薦を受け、競技本部長が資格等を考慮、調整し、アルペン委員会、ノルディック委員会、マスターズ委員会、フリースタイル委員会、ポイント管理委員、強化委員、企画委員等へと振り分ける。

推薦人数：加盟団体より複数推薦可

## 3. 教育本部専門委員候補者（様式：SAK用-4及び5）

「教育本部専門委員候補者の推薦のお願いと要領・期日等について」に従い、推薦をお願いします。

### お願いと注意事項

#### 1. 用紙記入について

1) 同封の「SAK 専用用紙—SAK用-1、-2、-3、-4、-5」に必要事項をみれなく記入し、県連事務局まで送付してください。必要事項不備の場合は受け付けられない場合があります。

2) SAJ 専門委員候補者は、SAK用紙の標題のあとに **SAJ** と記入をお願いします。

\*SAK 教育本部専門委員は SAJ 技術員同様の資格、技術レベルとします。

\*複数推薦の場合は用紙をコピーしてお使い下さい。

#### 2. 推薦締め切り

平成 28 年 5 月 24 日（火）県連事務所必着とします。

### その他

この SAJ、SAK 専門委員推薦依頼文は、加盟団体長（協会長）と理事長宛てに送付いたしましたので、よろしくお願ひいたします。

発送責任者

総務本部長 金子 理人

事務局長 本田 衛義

事務局 045-311-8907

携帯（本田）080-3529-6486

2016年5月9日

公益財団法人神奈川県スキー連盟  
加盟団体長（協会長）殿

公益財団法人神奈川県スキー連盟  
会 長 片 忠 夫  
専務理事 上 田 英 之  
(公印省略)

公益財団法人全日本スキー連盟及び公益財団法人神奈川県スキー連盟  
専門委員候補者の推薦のお願いと要領・期日等について

平素より本連盟の運営にあたり、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

新年度に向け、当連盟の新年度各種専門委員の推薦をお願いしたく案内申し上げます、推薦方法は、下記要領に基づき実施下さるようお願い申し上げます。

教育本部会、理事会を経ての決定となりますので、推薦された方々が自動的に専門委員になるものではありません、この点をご理解頂きたくお願いいたします。結果は各加盟団体へご通知申し上げます。

記

**（公財）神奈川県スキー連盟**

1. 教育本部専門委員候補者（様式：SAK用-4）

- (1) SAK スキー専門委員：公認スキー指導員で、スキー普及・発展の基幹となる人材で、スキー界の先達として自覚と誇りを持って取り組む者、A級またはB級公認検定員の資格を有すること。今年度の4月末日までに公認登録を完了した公認スキー指導員および準指導員の総数を基準とし、加盟団体50人に1人の割合で算出した人数以内、但し定数に満たなくても受け付けます。

（別紙 スキー技術員候補者の推薦について参照）

- (2) 安全対策委員：スノースポーツ傷害防止に関する研究や、安全の普及及び推進に情熱を持ち取り組む者。委員は、スキー指導員の資格を有する公認スキーパトロールであること。

2. スノーボード専門委員候補者（様式：SAK用-5）

公認スノーボード指導員で、その先達として自覚と誇りを持って、普及発展に努める意欲のある者。加盟団体の有資格者50人に1人の割合で算出した人数以内、但し定数に満たなくても受け付けます。

※ この選出に関する必要事項は、SAJ 教育本部規定、専門員及び技術員選出要領を基準。

## お願いと注意事項

### 1. 用紙記入について

- 1) 同封の「SAK 専用用紙—SAK 用—4、-5」に必要事項を漏れなく記入し、県連事務局まで送付してください。必要事項不備の場合は受け付けられない場合があります。

### 2. 推薦締め切り

平成28年5月24日（火）県連事務所必着とします。

以上

発送責任者

教育本部長 岡田 良平

事務局 045-311-8907

別紙 1

## スキー技術員（専門委員）候補者の推薦について

### 1. 協会推薦条件

#### 必須項目

- ・協会を代表するリーダーとしての自覚を持ち、技術員として指導、技術に向上心、熱意があること
  - ・候補者は、貴協会が責任を持って推薦できる者
  - ・県連行事を最優先に出席可能な指導員
  - ・初回の推薦年齢は、50歳未満
  - ・技術選手権大会3回以上出場者（決勝進出者）
  - ・指導員取得後2年以上経過した者（当該年度は含まず）
  - ・公認スキー検定員資格は、A級検定員またはB級検定員
  - ・クラウン・テクニカルプライズ取得者
  - ・クラウン・テクニカル検定講師ができる者
  - ・専門性に長けている者
- ※ 満60歳をもって定年とする

2. スキー技術員定数について

	加盟団体名	指導員数	技術員定数	技術員数
1	横浜スキー協会	842	16.84	17
2	川崎スキー協会	410	8.2	8
3	小田原スキー協会	123	2.46	2
4	横須賀スキー協会	29	0.58	1
5	相模原市スキー協会	164	3.28	3
6	茅ヶ崎スキー協会	29	0.58	1
7	藤沢スキー協会	109	2.18	2
8	平塚スキー協会	66	1.32	1
9	鎌倉スキー協会	48	0.96	1
10	逗子スキー協会	20	0.4	0
11	大和市スキー協会	37	0.74	1
12	足柄スキー協会	6	0.12	0
13	秦野市スキー協会	35	0.70	1
14	座間市スキー協会	4	0.08	0
15	伊勢原市スキー協会	35	0.70	1
16	厚木市スキー協会	100	2.0	2
18	南足柄市スキー協会	12	0.24	0
20	愛川町スキー協会	4	0.08	0
21	綾瀬市スキー協会	12	0.24	0
22	葉山町スキー協会	6	0.12	0
23	三浦市スキー協会	13	0.26	0
24	海老名市スキー協会	4	0.08	0
19	神奈川県高体連スキー専門部	1	0.02	0
	合計	2,109	42	41

※2016.4.30 登録表による

以上